

議会が注目した新年度予算

未来に直結！スマートーC構想始動！ 宇美スマートーC設置検討業務

1523万円

事業の概要

ふるさと応援基金を活用した九州縦貫自動車道への新たな接続拠点となるスマートインターチェンジ(スマートーC)の設置を検討するための経費。
町の持続的な発展と暮らしの豊かさを切り開くため、NEXCO(ネクスコ)西日本と福岡県との協議を進める。

副町長ヘインタビュ

問 宇美スマートーCが設置されることで町への効果は。

答 一木副町長

福岡都市圏のみならず、県内各地への円滑な移動が可能となり、宇美町を中心に、人や物の流れが大きく生まれ変わります。

新たな雇用やにぎわいが広がり、観光や地域経済の活性化も期待されます。災害時の対応力も高まり、安心で選ばれる町へ着実に進めていきます。



一木副町長

議会の視点

人と物流の流れをうみ出すために、未来の宇美町の玄関口を議会全体で押し進めていきたい。

赤字路線でも地域の大切な交通 西鉄バス宇美〜太宰府線 運行維持負担金

1171万円

事業の概要

西鉄バス宇美〜太宰府線の路線運行に係る経費の赤字分を、宇美町と太宰府市で距離按分して負担する。

乗降客の減少と運転手不足のため、運行会社が本社に吸収合併され、人件費などの経費が上昇した。
昨年度比で404万円増となった。

議会の視点

西鉄バス宇美〜太宰府線は通学通勤の大切な路線である。
利用しやすい路線・運行ダイヤの改正を望む。



答 シティプロモーション課長
現在協議を持ちかけている。進捗は報告していく。

問 企業努力がみえない。宇美駅からの発着や便数増、二日市までの路線延伸も考えられる。交渉は随時必要では。

みんなで描く一本松公園のこれから 一本松公園整備基本計画策定業務

2093万円

事業の概要

ふるさと応援基金を活用し、一本松公園にキャンプやバーベキュー、自由広場など多様な楽しみが広がる空間を整備。利用者ニーズを反映しながら、こどもから大人までが楽しめる公園となるように計画を策定する。

議会の視点

一本松公園が、こどもたちの「また来たい」、大人は「連れていきたい」場所になるよう、しっかりと進めていきたい。

問 一本松公園の特色として、以前あったひょうたんプールのような溪流遊びができる施設は計画に入っているのか。

答 都市整備課長

策定委員会のご意見を踏まえて、計画に盛り込む打ち合わせを行っている。



みんなに親しまれていたひょうたんプール

中学生9人が ハワイで国際交流 宇美町中学生国際交流事業

815万円

事業の概要

韓国扶余郡との国際交流事業「少年の翼」が廃止となり9年が過ぎた中で、青少年国際交流事業が復活した。

国際感覚と課題解決能力を備えた人材育成が目的で、福岡県市町村小中学生海外派遣事業助成金約564万円(個人負担金含む)を活用し、本町の中学1、2年生9人を、夏休み期間中に米国ハワイ州ホノルル市に派遣する。

答 社会教育課長

現時点で、年数制限や段階的に減額されるような制限は設けられていない。

問 県の補助金と町のふるさと応援基金を活用するが、県の補助金には、制限はあるのか。

この事業には34名の応募があり、関心の高さがうかがえる。

議会の視点

福岡県はアジアの玄関口であり、宇美町から多くの若者が世界に羽ばたいてもらいたいと願う。
この事業が、そのきっかけとなるようしっかり支えていきたい。

